-優秀映画鑑賞推進事業 in いまだて-

懐かしの日本映画

映画史に残る名作をいまだてのスクリーンで

1作品 500円　**通し券 1,000円**　**友の会 800円**

豚と軍艦

10:00～11:48（108分）

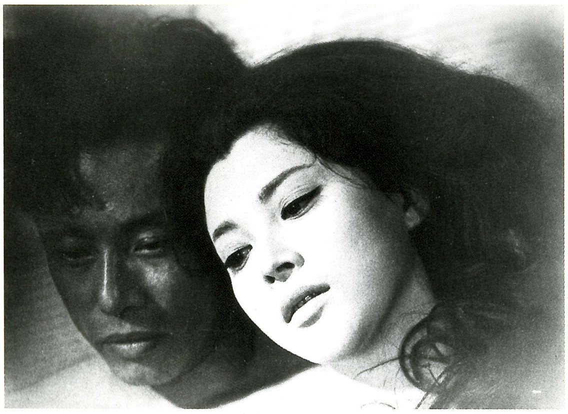
1961年　日活　（白黒／シネマスコープ／モノラル）

出演：長門裕之、吉村実子、南田洋子、丹波哲郎　ほか

横須賀の「どぶ板通り」を舞台に、アメリカ軍基地の残飯を使った養豚で一儲けを狙う落ち着きのなチンピラの欣太（長門）と彼を慕う春子（吉村）の無軌道ではかない恋の行方を描き、安保体制下にある敗戦国日本の姿をえぐり出した風刺劇。

情炎

13:00～14:37（97分）



1967年　現代映画社（白黒／シネマスコープ／モノラル）

出演：岡田茉莉子、木村功　ほか

松竹を離れた吉田喜重と岡田茉莉子が設立した現代映画社製作による『女のみづうみ』（1966、川端康成原作）に次ぐ第2作。

少年

15:00～16:37（97分）

1969年　創造社＝ATG（カラー／シネマスコープ／モノラル）

出演：阿部哲夫、渡辺文雄、小山明子　ほか

松竹ヌーベルバーグのひとりとして1950年代末から野心作を立て続けに監督してきた大島渚作品。本作は大島の思想が見事に映像化された代表作のひとつ。ヴェネチア国際映画祭に出品されて高い評価を得た。「キネマ旬報」ベストテン第3位。

心中天網島

17:00～18:43（103分）

1969年　表現社＝ATG（白黒／スタンダード／モノラル）

出演：中村吉右衛門、岩下志麻、滝田裕介、小松方正　ほか

近松門左衛門の有名な人形浄瑠璃を映画化した、松竹出身の篠田正浩監督の代表作。

アート・シアター・ギルド（ATG）との提携による低予算映画であったが、「キネマ旬報」ベストテンの第1位、監督賞、さらに女優賞も受賞している。

2025年10月15日(水)　越前市いまだて芸術館

〒915-0242　越前市粟田部町11-1-1　☎0778-42-2700

【プレイガイド】武生楽市／越前市文化センター／越前市いまだて芸術館

主催：（公財）越前市文化振興・施設管理事業団／国立映画アーカイブ

特別協力：文化庁／一般社団法人日本映画製作者連盟／全国興行生活衛生同業組合連合会／松竹株式会社
東宝株式会社／東映株式会社／株式会社KADOKAWA

後援：越前市／越前市教育委員会／越前市文化協議会／福井新聞社／ＦＢＣ／福井テレビ／ＦＭ福井
月刊ＵＲＡＬＡ／こしの都ネットワーク／たんなんＦＭ79.1ＭＨｚ／越前市いきいきシニアクラブ連合会

NFAJ